プレスリリース

2026 年 10 月 28 日
株式会社サンヴィレッジ

蓄電池併設低圧スーパー過積載太陽光発電所が系統連系

～太陽光発電と蓄電池の組み合わせにより、約 14 時間の安定的な売電を可能に～

株式会社サンヴィレッジ（本部：東京都千代田区、代表取締役 三村 挑嗣、以下「当社」）は、このたび、蓄電池併設低圧スーパー過積載太陽光発電所が系統連系し、運転を開始したことをお知らせいたします。
本発電所は、太陽光発電設備容量 163.2kW（DC）、パワーコンディショナー出力 49.9kW（AC）のスーパー過積載設計を採用し、253.3kWh の蓄電池を併設した低圧太陽光発電所です。
太陽光発電設備と蓄電池を DC リンク方式で接続することで、昼間の余剰電力を蓄電池に充電し、太陽光の発電量が減少する夕方から夜間にかけて放電します。これにより、シミュレーション上では午前 8 時頃から約 14 時間にわたり、49.9kW の安定的な売電（逆潮流）が可能となる見込みです。
また、本発電所は FIP 制度を活用し、当社がアグリゲーターとして発電電力の需給管理と市場売電および蓄電池の運用を担います。

1. 本発電所の概要

項目	内容
発電所種別	蓄電池併設低圧スーパー過積載太陽光発電所
太陽光発電設備容量（DC）	163.2kW
PCS 出力（AC）	49.9kW
蓄電池容量	253.3kWh
年間発電量（想定）	約 223,000kWh
蓄電池接続方式	DC リンク方式
アグリゲーター	株式会社サンヴィレッジ

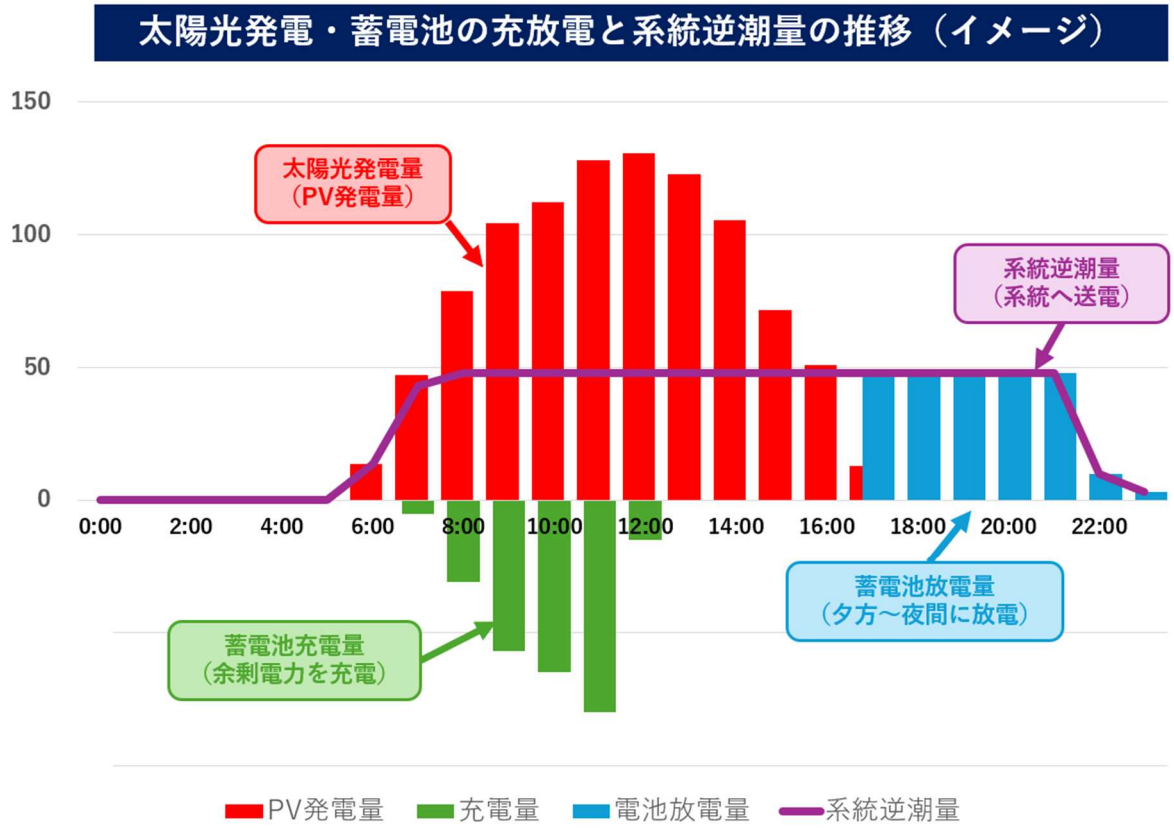
2. 本発電所の特徴

本発電所は、AC 出力 49.9kW に対し約 3.3 倍となる 163.2kW の太陽光パネルと 253.3kWh の蓄電池を備え、年間約 222,000kWh の売電量を見込んでいます。DC リンク方式の採用により、従来はピークカットされていた昼間の余剰電力を蓄電池に充電し、太陽光発電量が減少する夕方から夜間の売電に活用します。これにより、シミュレーション上では約 14 時間にわたり 49.9kW の安定的な売電が可能となる見込みです。また、FIP 制度を活用し、当社がアグリゲーターとして発電予測、発電計画の策定および蓄電池運用を担い、卸電力市場での売電を行います。

3. 今後の展開

当社は、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた分散電源のアグリゲーション事業を推進しています。今後は、本発電所のようなスーパー過積載太陽光発電設備と蓄電池を組み合わせた発電モデルの展開を進めるとともに、FIP 制度を活用した市場売電や蓄電池の高度な運用技術の確立を目指します。

また、蓄電池を活用して昼間の太陽光発電電力を夕方から夜間へシフトすることで、再生可能エネルギーの供給が限られる時間帯の電力需要に対応します。さらに、現在議論が進められている GHG プロトコルの改定や、電力需要と再生可能エネルギー供給を時間単位で一致させるアワリーマッチングの普及を見据え、夜間の環境価値の提供を視野に入れた蓄電池の活用を進めてまいります。
これにより、再生可能エネルギーの有効活用と電力供給の安定化を両立し、再生可能エネルギーの主力電源化と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



※本図はシミュレーションに基づくイメージであり、実際の発電量や蓄電池の充放電量、売電量とは異なる場合があります。

【サンヴィレッジ】
社　　名：株式会社サンヴィレッジ
代　　表：代表取締役 三村 挑嗣
本　　部：東京都千代田区大手町 1 丁目 5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー2 階
事業内容：太陽光発電所、系統用蓄電所の開発と再生可能エネルギー事業
会社ホームページ：https://sunvillage-co-ltd.com/

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社サンヴィレッジ 広報部
TEL：03-6810-2685
info@sunvillage-co-ltd.com